

## 第 3 2 回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023 年 4 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

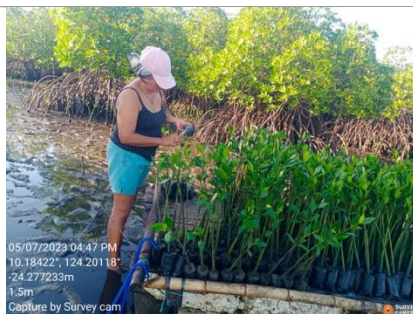
団体名	特定非営利活動法人ハロハロ
活動タイトル	大型台風から島民の命を守ったマングローブ林の復興
活動地域	フィリピン・ボホール州ヘタフェ市アルマー島



2023 年 5 月 19 日マングローブ植樹活動の様子

### 【活動の目的・目標】

台風での被害を受け 3 割程度の生存率になってしまった島の北西・西・南西部マングローブ地帯で、在来種 BAKHAW の植樹保全を実施し、マングローブの森を取り戻すことを目指す。2023 年度は組合員と島民がともに 3 万本を植樹し、新規植樹の生存率 80%を目指して保全活動を行いながら、防災にもつながる環境への意識啓発に挑戦する。この活動の様子を記録し、日本の人々とのオンラインを通じた交流の場も開く。



2023 年 5 月 7 日 5000 本の苗木を育成中

### 【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

- ・今までは苗木を直接植樹してきましたが、今年は初めて苗木育成にも挑戦しました。ただ、育成に使ったポッドが小さく、根が十分にはれずに季節風に倒れてしまったためさらに改善しながら挑戦を続けようとしています。
- ・昨年から新たに取り組んでいる日本の人々とオンラインでつないだ環境教育の場は「マングローブと生物多様性」をテーマに開催し、生物の写真記録を残す一歩をともに始めることができました。



2023 年 4 月 9 日マングローブ保護フェンス修繕

### 【活動の内容・成果】

開催回数：23 回（マングローブ植樹 準備 1 日、植樹 2 日、保全活動 10 日、モニタリング 5 回、海岸清掃 5 回）

参加人数：合計 165 人（会員 142 人、一般ほか 23+9 人）

達成率：99%

住民グループ ASFA は、4 月 5 月に、予定していた 3 万本のマングローブをアルマー島西部に植樹し、現在は年間での保全活動を継続しています。現在の生存率は 98%ですが、毎年年末に台風による影響を大きく受けるハイリスクな時期になるためさらなる警戒をしています。

また、保全活動への島民のボランティア参加を促進すべく、住民グループ ASFA は年始に「年間 4 日の海岸清掃日」を設け、メンバーの家族や隣人の参加を呼びかけています。

さらに、マングローブの保護フェンスの設置ならびに修繕活動は力仕事になるため地域の男性たちが毎月作業しており、2020 年から現在までのイオン環境活動助成による植樹地域を保護しています。

### 【団体概要】

NPO ハロハロはだれもが魅力的に働き生きることのできる社会を目指し、フィリピンとの日本人々とのパートナーシップのもと、人が主役のまちづくりに挑戦しています。生活向上、教育、啓発の 3 本柱で取り組みを進めています。イオン環境活動助成ではボホール事業地でマングローブ植樹保全による復興、生物多様性そして環境教育を行なっています。

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

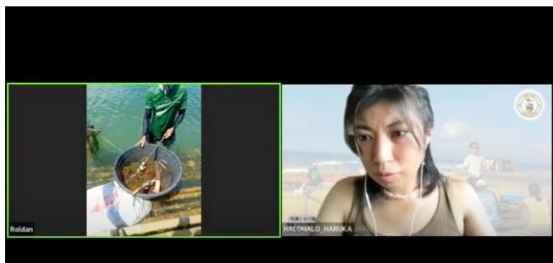
報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



8月に129名の参加者と、4回目の海岸清掃が行われました。

年間4回の予定を早々に終わってしまったため、さらにASFAでは開催日を増やして、海のよりよい環境へ島民のアクションを促そうとしています。



オンラインで開催した「マングローブの森と生き物たち」環境教育の場には、後日視聴もあわせて20名の参加があり、ライブ映像と写真で、海藻、魚、かに、貝、藻など9種類のアルマー島の生き物について紹介し、生物多様性をともに考える場とすることができました。



オンライン講座でとりあげた、マングローブの若木にとりついてしまうフジツボ。



オンライン講座でとりあげた、タカラ貝。